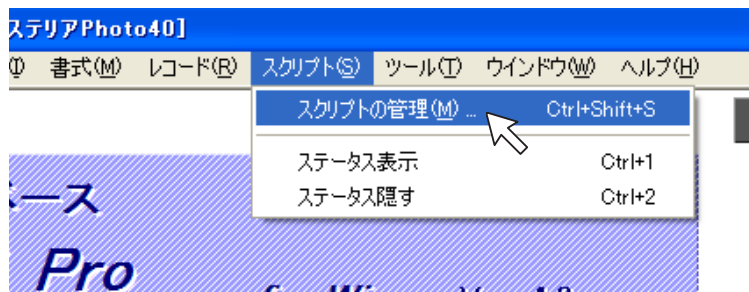


## 4枚画像印刷用画面で、Photo1の撮影日を選択すると9枚画像タブに切り替わる

4枚写真印刷用画面で Photo1 の撮影日を選択すると、9枚画像タブが表示されます。以下の手順にてスクリプトを修正してください。  
なお、ご自身で修正できない場合は、修正済みのウイステリアを用意していますので、事務局までお問い合わせください。修正済みウイステリアをご使用になるには、データをインポートする必要があります。

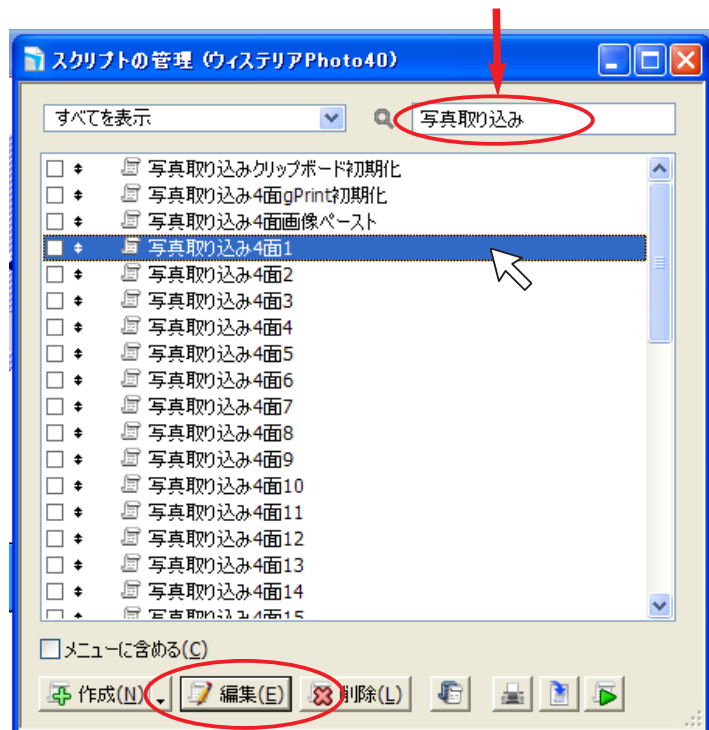
- ① スクリプト→スクリプトの管理 (ScriptMaker) を選びます。



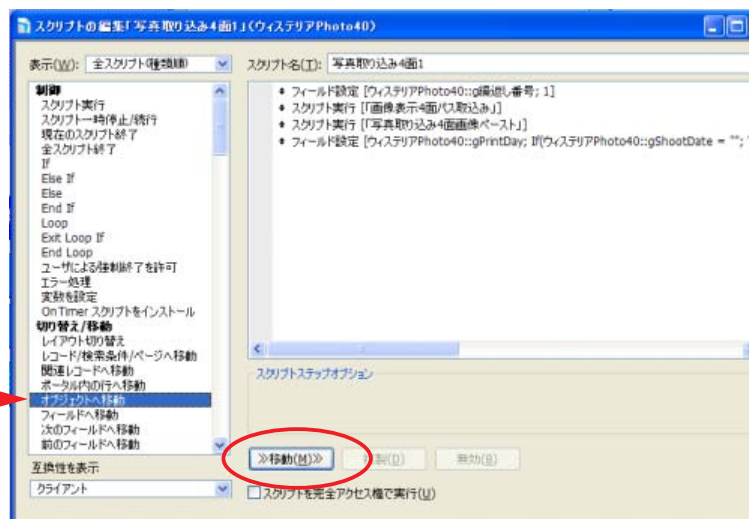
ここに入力すると下の一覧が絞り込まれます

- ② スクリプトの管理ダイアログが開きます。スクロールバーを操作して「写真取り込み4面1」を探します。ファイルメーカー9以上をご使用の場合は虫めがねマーク欄に「写真取り込み」と入力すると、一覧が絞り込まれます。

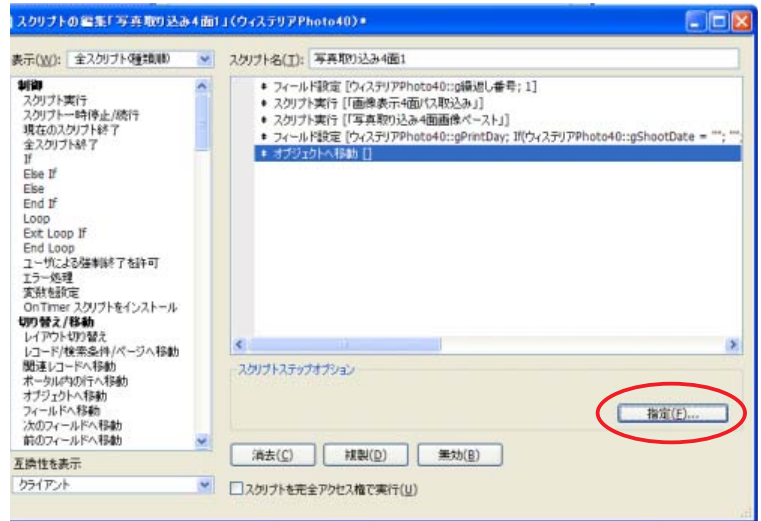
ダブルクリックまたは [編集] ボタンをクリックします



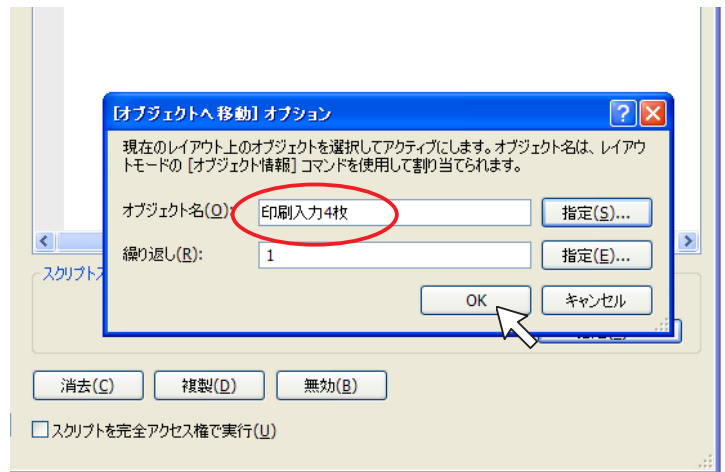
- ③ スクリプトの編集ダイアログが開きます。左側の窓から「オブジェクトへ移動」を選択し [移動] ボタンをクリックします。



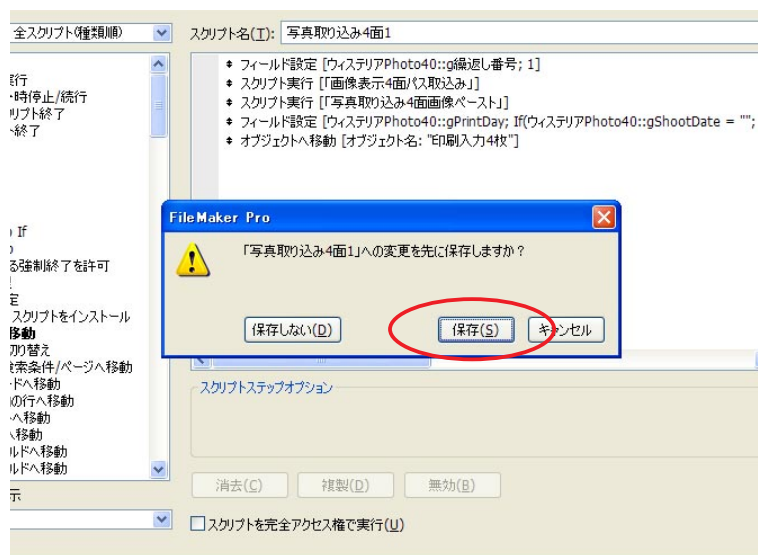
- ④ 「オブジェクトへ移動」が反転しているのを確認し、[指定] ボタンをクリックします。




- ⑤ オプションのダイアログが表示されます。オブジェクト名に「印刷入力 4 枚」と入力し、[OK] します。



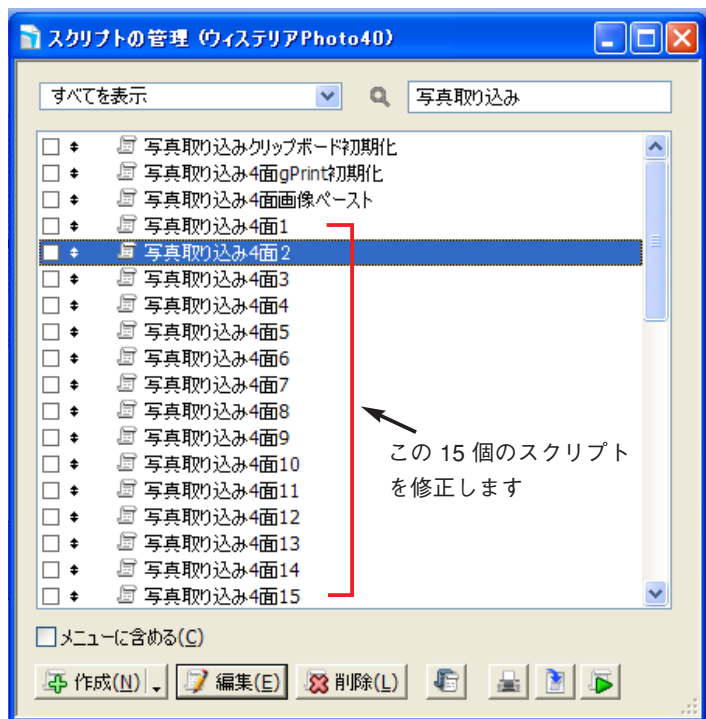
- ⑥ ファイルメーカー 9 以上をご使用の場合は、スクリプトの編集ダイアログの [X] をクリックして閉じます。そのとき、保存ダイアログが表示されますので、[保存] をクリックします。ファイルメーカー 8.5 の場合は [OK] します。



- ⑦ スクリプトの管理に戻りますので、同様に「写真取り込み 4 面 2」を選択し [編集] をクリックし、③～⑥の作業をします。以下同様に「写真取り込み 4 面 15」まで繰り返します。

「写真取り込み 4 面 15」までスクリプト定義を修正しましたら、スクリプトの管理ダイアログを  をクリックして閉じます。ファイルメーカー 8.5 の場合は「OK」します。

以上で修正は完了です。



※手順 ⑤ でオブジェクト名を入力した際、Ctrl+c (Mac はコマンド+c) で“印刷入力 4 枚”をコピーをしておくと、次のときに、Ctrl+v で貼り付けができます。ひとつずつ入力する手間を省くことができます。